

教員の働き方改革

「働き方」の改革です！

2019.04.23

No.68

校長 渡邊 幸二

授業参観、お疲れ様でした。また、その後の学年PTA懇談会へもていねいな資料をご準備いただきました。今年度の学級の経営について熱く語っていただいたようですが、個人的には、あの資料で「学級経営案」は事足りるのではないかと思っています。改めて作成しなくとも、あれをそのまま綴って使ってもそう大きな効果の違いはないのではないかと思います。“抜けるところは徹底的に力を抜く”でいいと思います。

教員の「働き方」の改革

PTA総会で、私は保護者のみなさまに、学校の「働き方改革」の現状を訴えました。昨年1年間、本校教員の勤務時間以外での勤務の状況は右の資料のように月あたり**40.6時間**でした。これは平均ですので、以前もお話しましたが4～6月の繁忙期は50時間を軽く越え、中には100時間を越えた方もいます。しかも、土・日や家での仕事は含まれていません。それも合わせたらちょっと恐ろしい数字になりそうです。

それで「働き方改革」をしよう、という論理になっているように思います。だから、**時間外の勤務の上限の時間を設定したり、タイムカードの導入**を考えたり、学校が抱えすぎている仕事を減らすという発想になるのだと思います。

それはそれで間違っていないのですが、私は何となく違和感を覚えるのです。過度な改革が、先生方が本来感じている「**教職の魅力**」まで削減・縮小させてしまうのではないかという危機感です。

おそらく子どもたちのために一生懸命働くことに異議を唱える教員は、少なくとも本校にはいないように思っています。もっと子どもたちとしっかり向き合いたいという思いです。つまり、われわれが改革したいのは、勤務時間ではなく(もちろん長過ぎるのは改善すべきですが)、働いている中身、つまり「**働き方**」の内容を改革したいのではないかということです。たとえば、**「PTAの仕事**を保護者だけでやり切る」とか、あまり意味のなさそうな

活動を止めてしまうなどを例に、保護者のみなさまにPTA活動の改善を訴えました。PTA活動などはぜひ考えてほしいところですが、学校の活動や先生方が行っている仕事に関しては、何でもかんでも切ってしまう、削減・停止してしまうという発想ではない方がいいように思うのです。つまり「**先生という仕事の面白さ**」についてはあまりメス

「勤務時間上限は指針で『月45時間、年360時間以内』とし、罰則は設けず、残業時間に応じた時間外手当も支給しない。」

土・日、家での仕事は含まれていません！



子どもたちと向き合う時間・ゆとりをください

それって、本当に必要？ 先生方に負担じゃない？
教師の多忙は、子どもたちにはね返ります!!

学校とPTAの関係

困ったことも、良いことも共有し

同じ方向で子どもたちを育てていく仲間

を入れすぎると危険だと思うのです。中には学校として「学級だよりを発行しないことにする」というところもあるやに聞いています。「なくても機能するものは、なくしてもいい・なくすべき」と学校(管理職)が一律に介入してしまうと、本来の教育活動の面白さが失われてしまう危険があると思われます。ある程度、個々人に任せる部分も必要だと思うのです。教育の本質にかかる部分、本校で言えば「授業の改善」や「人間力の育成」などに特化して、教員の時間・エネルギーを使えるように改革していくことが本来の「**教員の働き方改革**」ではないかと思っていますが、みなさんはどう考えているでしょうか。



4月1日、「浜田小学校の組織と運営」の1ページ目に、私は次のように書きました。

そこで、我々のエネルギーを効率的に、最大限発揮できるような仕組みをつくってみた。それが次ページにある校務分掌組織図である。私たちは教育理念とそれを達成するための教育目標の具現化のために、組織の中の主務者としてリーダーシップを発揮することはもちろん、その組織に積極的に貢献しようとするフォロアーシップも持ち合わせて自身のエネルギーをそこに集めていく。



浜田小学校の組織・運営は、あるいはそれに至るまでのアクションは、すべて“本来の**「教員の働き方改革」**”のために行ったと言っても良いと思います。もし、さらに改善の余地、あるいは削減すべきことがあったら、どうか遠慮なく申し出てください。おそらく来年では感じられない、今しか気づけないことがあると思います。現場にいる先生方のセンサーが重要です。

文部科学省の「学校における働き方改革に関する緊急対策」などにも、学校ではなく地域や保護者が担うべき業務などが例として示されています。今後も、それらを参考にしながら浜田小学校としてできる「働き方改革」を積極的に進めていきます。ご意見、ご提案をお待ちしています。

